



ライセンス機能割り当ての設定

機能割り当てによって、システム管理者はユーザに対して Cisco Unified Presence (CUP) および Cisco Unified Personal Communicator (CUPC) 機能を有効にできます。CUP および CUPC のライセンスが利用可能であることを確認する必要があります。

ライセンス機能割り当ては、既存のユーザに対して行います。開始する前に、[ユーザ管理] > [エンドユーザ] の順に選択し、[検索] をクリックして、システムにそのユーザが存在することを確認してください。

ユーザに対する機能割り当ての設定を開始する前に、[ライセンス] > [ライセンスユニット計算] を選択して、システムに必要な CUP (サーバおよびクライアント) ライセンスと CUPC ライセンスの数を決定します。[ライセンス] > [ライセンスファイルのアップロード] を使用して、必要なライセンスを取得します。[ライセンス] > [ライセンスユニットレポート] を使用して、合計ライセンスを確認してください。

ライセンス機能割り当てを追加または更新するには、次のトピックを参照してください。

- [ライセンス機能割り当ての検索 \(P.29-2\)](#)
- [1人のユーザに対する機能割り当ての設定 \(P.29-4\)](#)
- [複数ユーザに対する機能割り当ての設定 \(P.29-5\)](#)
- [ライセンス機能割り当ての設定値 \(P.29-6\)](#)
- [関連項目 \(P.29-6\)](#)

ライセンス機能割り当ての検索

ネットワーク内にはユーザに対していくつかのライセンス機能割り当てが存在することがあるの
で、Cisco Unified Communications Manager の管理ページでは、固有の条件を指定して、特定の機能
割り当てを見つけることができます。機能割り当てを検索する手順は、次のとおりです。



(注) Cisco Unified Communications Manager の管理ページでは、ブラウザセッションでの作業中は、機能
割り当ての検索設定が保持されます。別のメニュー項目に移動してからこのメニュー項目に戻っ
てくる場合でも、検索に変更を加えたり、ブラウザを閉じたりしない限り、機能割り当ての検索設定
は保持されます。

手順

ステップ 1 [システム] > [ライセンス] > [機能割り当て] の順に選択します。

[機能割り当ての検索と一覧表示 (Find and List Capabilities Assignment)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 データベース内のすべてのレコードを検索するには、ダイアログボックスが空であることを確認
し、**ステップ 3** に進んでください。

レコードをフィルタリングまたは検索する手順は、次のとおりです。

- 最初のドロップダウンリストボックスから、検索パラメータを選択します。
- 2 番目のドロップダウンリストボックスから、検索パターンを選択します。
- 必要に応じて、適切な検索テキストを指定します。



(注) 検索条件を追加するには、[+] ボタンをクリックします。条件を追加すると、指定したす
べての条件に一致するレコードが検索されます。条件を削除するには、[-] ボタンをクリッ
クして最後に追加した条件を削除するか、[フィルタのクリア] ボタンをクリックして、追
加したすべての検索条件を削除してください。

ステップ 3 [検索] をクリックします。

すべてのレコード、または一致したレコードが表示されます。[ページあたりの行数] ドロップダ
ウンリストボックスから別の値を選択して、各ページに表示する項目の数を変更できます。



(注) 該当するレコードの横にあるチェックボックスをオンにして [選択項目の削除] をクリッ
クすると、複数のレコードをデータベースから削除できます。[すべてを選択] をクリッ
クして [選択項目の削除] をクリックすると、この選択対象として設定可能なすべてのレコー
ドを削除できます。

ステップ 4 表示されたレコードのリストで、表示するレコードのリンクをクリックします。



(注) リストのヘッダーに上矢印または下矢印がある場合、その矢印をクリックして、ソート順序を逆にします。

選択した項目がウィンドウに表示されます。

追加情報

P.29-6 の「[関連項目](#)」を参照してください。

1 人のユーザに対する機能割り当ての設定

Cisco Unified Communications Manager データベースにユーザの機能割り当てを追加する手順、およびデータベース内の機能割り当てを更新する手順は、次のとおりです。

始める前に

機能割り当てを設定する前に、[システム] メニューの [ライセンスファイルのアップロード] を使用して、シスコシステムズからライセンスを取得する必要があります。

手順

ステップ 1 [システム] > [ライセンス] > [機能割り当て] の順に選択します。

[機能割り当ての検索と一覧表示 (Find and List Capabilities Assignment)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 新しい機能割り当てを追加するか、既存の機能割り当てを更新する場合は、該当する機能割り当てを見つけて (P.29-2 の「[ライセンス機能割り当ての検索](#)」を参照)、**ステップ 3** に進みます。

[機能割り当ての設定 (Capabilities Assignment Configuration)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 3 適切なチェックボックスをオンにします (表 29-1 を参照)。

ステップ 4 [保存] をクリックして、機能割り当て情報をデータベースに保存します。

追加情報

P.29-6 の「[関連項目](#)」を参照してください。

複数ユーザに対する機能割り当ての設定

Cisco Unified Communications Manager データベースに複数ユーザの機能割り当てを追加する手順、およびデータベース内の機能割り当てを更新する手順は、次のとおりです。

始める前に

機能割り当てを設定する前に、[システム] メニューの [ライセンスファイルのアップロード] を使用して、シスコシステムズからライセンスを取得する必要があります。



(注)

一括割り当て機能を使用する場合は、最大 250 ユーザに対してライセンスを割り当てることができません。

手順

ステップ 1 [システム] > [ライセンス] > [機能割り当て] の順に選択します。

[機能割り当ての検索と一覧表示 (Find and List Capabilities Assignment)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 新しい機能割り当てを追加するか、既存の機能割り当てを更新する場合は、該当する機能割り当てを見つけて (P.29-2 の「ライセンス機能割り当ての検索」を参照)、**ステップ 3** に進みます。

ステップ 3 複数ユーザに対して新しい機能割り当てを有効にするか、既存の機能割り当てを更新するには、そのユーザの横にあるチェックボックスをオンにするか、[すべてを選択] ボタンをクリックします。

ステップ 4 [一括割り当て] ボタンをクリックします。

[機能割り当ての設定 (CapabilitiesCF Configuration)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 5 適切なチェックボックスをオンにします (表 29-1 を参照)。

ステップ 6 [保存] をクリックして、機能割り当て情報をデータベースに保存します。

追加情報

P.29-6 の「関連項目」を参照してください。

ライセンス機能割り当ての設定値

表 29-1 では、ライセンス機能割り当ての設定値について説明します。関連する手順については、P.29-6 の「関連項目」を参照してください。

表 29-1 ライセンス機能割り当ての設定値

フィールド	説明
[ユーザ情報 (User Information)]	
[ユーザ ID (User ID)]	機能割り当てを有効にするユーザの名前を表示します。
[機能割り当て情報 (Capabilities Assignment Information)]	
[CUP (Cisco Unified Presence) を有効にする]	このユーザに対して CUP を有効にするには、[CUP (Cisco Unified Presence) を有効にする] チェックボックスをオンにします。
[CUPC (Cisco Unified Personal Communicator) を有効にする]	このユーザに対して CUPC を有効にするには、[CUPC (Cisco Unified Personal Communicator) を有効にする] チェックボックスをオンにします。CUP と CUPC の両方を有効にできますが、CUPC が必要な場合は、CUP も有効にする必要があります。

関連項目

- [ライセンス機能割り当ての設定 \(P.29-1\)](#)
- [ライセンス機能割り当ての検索 \(P.29-2\)](#)
- [1 人のユーザに対する機能割り当ての設定 \(P.29-4\)](#)
- [複数ユーザに対する機能割り当ての設定 \(P.29-5\)](#)
- [ライセンス機能割り当ての設定値 \(P.29-6\)](#)
- *Cisco Unified Communications Manager Bulk Administration ガイド*